



# 「きて！みて！まこまる 2018」が開催されました！

平成 30 年 10 月 13 日（土）、「きて！みて！まこまる 2018」がまこまる（旧真駒内緑小学校）にて開催されました。

まこまるで活動する各団体により個性的な催しが行われ、子どもから大人まで多世代で楽しめる、にぎやかなイベントになりました！

## きて！みて！まこまる 2018 開催概要

- ◆開催日時 平成 30 年 10 月 13 日（土）10：00～16：00
- ◆開催場所 まこまる（旧真駒内緑小学校） 真駒内幸町 2 丁目 2-2
- ◆主催 まこまる運営協議会



「芸術の森音楽隊」による演奏

## きて！みて！まこまる 2018 プログラム

### ◆オープニング

- ◆開会のあいさつ
- ◆札幌市立大学の吹奏楽サークル「芸術の森音楽隊」による演奏
- ◆特別企画「夢のまこまるパン コンテスト」表彰式



「夢のまこまるパン コンテスト」子どもたちの絵が夢のパンになりました！

### ◆まこまるを体験しよう！

- ◆ちあふる・みなみ（南区保育・子育て支援センター）
  - ・きて！みて！「出張子育てサロン」
- ◆Co ミドリ（子どもの体験活動の場）
  - ・Co ミドリ プレーパーク
  - ・「くつ下人形づくり」しま専科
  - ・カフェの日（コナコ堂）
  - ・まこまない・ベース
- ◆札幌市立大学
  - ・まちの健康応援室
  - ・指で描くパステルアート講座
  - ・絵本の読み聞かせ
  - ・みんなで楽しくふまねっと
  - ・まちの小さな音楽会
  - ・大人の IoT 教室
  - ・公開講座
  - ・パネル展示



きて！みて！「出張子育てサロン」

大型遊具で遊べる特別サロン、いつものサロンとは違った遊びで楽しむ子どもたちの姿が見られました。



まちの小さな音楽会

様々な楽器が登場し、子どもから大人まで楽しめる音楽会となりました！



「くつ下人形づくり」しま専科

自由な発想でいろいろな人形が完成！その人形を使った即興劇も盛り上がりました！



指で描くパステルアート講座

指をパステルで染めながら、パステル画を楽しみました！

### ◆地域の魅力を知って楽しもう！

- ◆まこマルシェ
  - 真駒内及び南区で販売もしくは作られている野菜・パン・クラフトなどを販売し、その魅力を地域の皆様にご紹介いたしました！



**発行者** 札幌市まちづくり政策局 都市計画部地域計画課  
 〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目  
 TEL. (011) 211-2545  
 FAX. (011) 218-5113  
 真駒内駅前地区まちづくりに関するご意見は、上記へお寄せください。



# 真駒内まちづくり通信

SAPPORO 平成 31 年 4 月 第 14 号  
【南区拡大版】

真駒内まちづくり通信はこれまで真駒内地域の方々に向けて発行していましたが、「真駒内駅前地区のまちづくり」について広く情報提供をするため、今回から南区に拡大して発行します。過去のまちづくり通信はホームページにて公開しています。

真駒内まちづくり通信  <http://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/makomanai/tsushin.html>

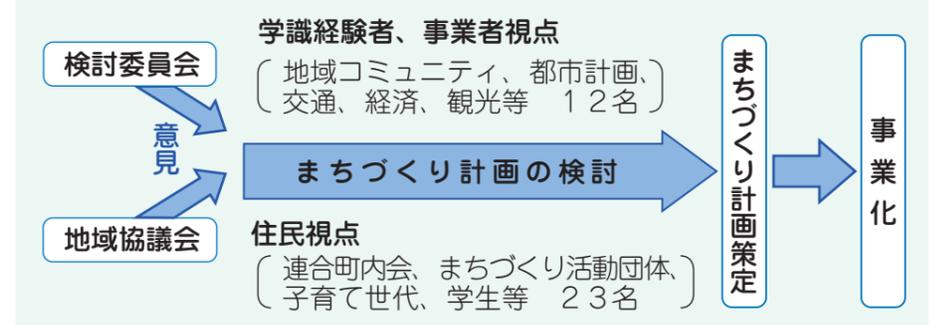


## 真駒内駅前地区のまちづくりを考えています！

～真駒内地域はもとより南区全体の拠点としてとらえ、駅前地区の再編を図ります～

### 進め方

検討委員会と地域協議会を開催し、さまざまな視点からご意見を伺いながら、まちづくり計画の検討を進めていきます。



今後、南区民のうち 6,000 名を対象に、真駒内駅前地区まちづくりに関する意識調査（アンケート形式）を行う予定です。対象の方には調査票をお送りしますので、ご協力をお願いします。

## 第 1 回 検討委員会を開催しました

- ◆開催日時 平成 30 年 11 月 13 日（火）10：00～11：30
- ◆場 所 まこまる（旧真駒内緑小学校）2 階「まちの講堂」（南区真駒内幸町 2 丁目 2-2）
- ◆参加委員 9 名



### 主な意見

#### 〈まちなぎわい〉

- 現在の真駒内駅はあくまで乗り継ぎ拠点となっている。一方で、多くの人が通過しており、最近ではインバウンド（訪日外国人旅行）の方もたくさん乗車しているので、ひと工夫があると駅前ににぎわいができるし、そういうチャンスを秘めているのではないと思う。
- 真駒内は通過点になっているため、今後の真駒内駅前の活性化を考える際には、駅前に滞留・交流できる場所を作ると良い。

#### 〈人の流入〉

- 真駒内は住宅地として成熟しているため、暮らしの魅力を高めると良い。例えば、中古住宅の流通など若い世代が入ってこられる仕組みづくりや、地域資源などを活かすことで、魅力を高めていく可能性があるのではないかと。
- 若い世代をどのように取り込んでいくかが、大きな課題の一つである。真駒内の環境を気に入っている人が多いので、今までの環境を大事にしながら、新たに住んでみたいと思わせる仕組みを、どのようにできるか考えたい。



## 第1回 地域協議会を開催しました

- ◆開催日時 平成31年2月4日（月）18:30~21:00
- ◆場所 南区民センター2階 視聴覚室A・B  
（南区真駒内幸町2丁目2-1）
- ◆参加者 21名



検討委員会・地域協議会の  
詳細はこちらから！

### 主な意見

#### ■ 南区及び真駒内地域の現状・課題について

##### 〈キーワード〉豊かな自然や景観、芸術とスポーツのまち、南区の玄関口

- ・真駒内公園や真駒内川などの豊かな自然や、駅前から見る桜山の美しい景観がある。
- ・アーティストやクリエイターが多く住んでいることから、「芸術のまち」を打ち出していくと良い。
- ・真駒内には札幌オリンピックの歴史やそのレガシー（遺産）、アイスアリーナなどの大型スポーツ施設があることから、「スポーツのまち」を打ち出していくと良い。
- ・南区には野菜や果物などの食や、小金湯、ピリカコタン（アイヌ文化交流センター）、定山溪などの観光資源がある。
- ・真駒内駅は最終駅ではなく、南区の玄関口になっている。



##### 〈キーワード〉真駒内駅の利用、区民が集まる施設が立地、駅前通りのにぎわい

- ・南区に住んでいる人は、通勤・通学等で真駒内駅を利用することが多い。
- ・真駒内には南区役所や福祉センターなど多くの区民が集まる施設が立地している。
- ・駅前通りは公共施設や商業施設もあり、人通りが多く、にぎわいが感じられる。

##### 〈キーワード〉高齢化、小学校の減少、消費の減少

- ・高齢化が進んでおり、特に上町では高齢者が多くなっている。
- ・小学校が閉校し、4校から2校になった。
- ・人口の減少に伴い、消費も減少している。

##### 〈キーワード〉子どもが遊べる場所、子育てしやすい環境、若い世代

- ・「ちあふる」など子どもが遊べる施設はあるが、日曜日に利用できないこともあり、小さい子供が遊べる場所が少ない。
- ・保育園の数が不足しており、子育てをしながら働ける環境にない。安心して子育てができる環境づくりが必要である。
- ・地価が高かったり、間取りや家賃など学生や若い世代に合った住宅が整っていない。



##### 〈キーワード〉駅前の交通アクセス、動線の混在

- ・バスの停留所が複数あるが、その先の交通機関への乗り換えなどが不便で、特に高齢者や障がい者に優しくない。
- ・駅前では、人と車と自転車の動線が混在している。

#### ■ 真駒内地域の30年後の将来像について

##### 〈キーワード〉南区の拠点、情報の発信

- ・自然、芸術、スポーツ、歴史など南区の豊富な資源を活かして、人や物が集まる南区の拠点になると良い。
- ・国内外に南区の観光や魅力を発信できる場所になると良い。



##### 〈キーワード〉若い世代のニーズに対応、持続的なまち

- ・現在の真駒内のゆとりある落ち着いた暮らしを維持しつつ、子育て環境や住宅、買物など若い世代のニーズに対応したまちになっていくと良い。
- ・真駒内で育った子どもたちや通学していた学生たちが、一度真駒内を離れても戻ってきたくなくなるようなまちになると良い。

##### 〈キーワード〉滞留・交流、にぎわいの点在、周遊、安全・安心

- ・カフェやフリースペースなど学生が勉強できたり、高齢者がおしゃべりできるような、滞留・交流を生む場所があると良い。
- ・広場や公園などでイベントが行われることや、小規模な店舗が並ぶことによって、にぎわいがあるまちになると良い。
- ・真駒内駅前を中心として、自然豊かな美しい景観を感じながら歩けるまちになると良い。
- ・徒歩圏内ににぎわいが点在し、それらがみどりなどでつながることで、周遊できるまちになると良い。
- ・バスの案内を外国人や来街者にもわかりやすくするなど、みんなにやさしいまちになると良い。
- ・夜も安心して歩けるように街灯などが整備されると良い。



##### 〈キーワード〉多様な主体の連携、創造的な活動

- ・駅前のまちづくりを持続的に推進、運営していくための仕組みとして、まちづくり組織をつくると良い。
- ・札幌市立大学や東海大学などの教育機関・行政・住民等の様々な主体と連携して、まちづくりを進めていけると良い。
- ・住民の多様な交流からアイデアやチャレンジが生まれ、それを実現していけるように創造的な活動が行われていくまちになると良い。

